

## 平成28年度 高井田苑事業報告（案）

### はじめに

#### （１）利用者状況

利用者支援状況に記述する利用者の利用期間をみると、当高井田苑が開設（平成11年）以来の利用者は28名（28/39）約72%である。15年以上の利用期間の者は30名・77%であり、10年以上では34名・87%である。

10年以上の利用者34名中、28名（約82%）が障害支援区分6・5である。

年齢を見ると30歳・40歳代が39名中31名（約80%）である。

#### （２）一人ひとりの人生を考える

人生の、いわゆる働き盛りと言われる30・40歳代、何かに挑戦できるであろうこの大事な時期を、「施設での暮らし」を当たり前のように継続していくことでよいのだろうか？たった一度の人生を大事にしたいと思うのは、誰しも同じである。

スウェーデンのベンクト・ニリエの唱えるノーマライゼーションの8原則を思い起し、「一人ひとりの人権を守る・回復するプロセスにおけるいとなみ」こそが支援の原点であると認識しなければならない。

長年の施設生活の結果、阻害してきたかもしれない「生きる力」、この「生きる力」は誰にでも備わっていることを認識しなければならない。「一人ひとりの生きる力」を醸成できる環境づくりを目標に、平成28年度は①まず、できることからということで居住環境の改善を実施した。閉鎖空間になりがちな、パターン化しやすい、一人ひとりの個性が活かされにくい、生活環境は今後の課題と考えている。②また、障がいの有無に関わらず、地域との関係性の中での日々のいとなみの実現を図って、いろんな経験を重ねる機会を準備してきた。

一人ひとりの人生を考え、その人なりの暮らしの実現を図ろうとする日々の支援のありようが重要になってくる。支援のプロセスには、支援者の利用者本人に対する意思表示・意思決定支援のありようや家族の参加等も含め検討すべき課題が山積している。

#### （３）人材育成

提供する福祉サービスの質に関しては、対人援助サービスにかかわる支援者の質によるところが大きいと認識している。人材育成の観点から支援者の国家資格(社会福祉士・介護福祉士)取得を推奨してきた。結果は以下のとおりである。

平成27年度：介護福祉士資格取得者	5名（+既取得者2名）	計 7名
平成28年度：社会福祉士資格取得者	2名（+既取得者2名）	計 4名

### I ハード面の整備

#### 1 男性2階フロアのユニット化及び全室テレビの配線、防犯カメラ等の設置。

##### （１）男性フロア（2階）の3ユニット化

1ユニットは自立ユニットと位置づけ、支援の見直しを行った。

(2) 1・2階の利用者居室にテレビの配線を行った。

(3) 補助金申請により防犯用のカメラ等の設置。(詳細は「安全管理」の項に記述)

## II 利用者支援について

### 1 利用者の概況

(1) 利用者の年齢構成 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

	25～30 歳未満	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～65 歳未満	計
男性	1	7	1 8	2		2 8
女性	1	3	3	1	3	1 2
計	2	1 0	2 1	3	3	3 9

○施設入所支援の利用者の年齢は、2 6 歳～6 3 歳

平均年齢：男性：4 1. 8 歳 女性：4 7. 0 歳

○生活介護の利用者の年齢は、2 5 歳～6 3 歳

平均年齢：男性：4 1. 4 歳 女性：4 4. 6 歳

(2) 利用期間と障害支援区分 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

利用期間 障害支援区分		5 年未満	5 年～10 年未満	10 年～15 年未満	15 年～17 年 未満	17 年～	計
6	男性	1		1		8	1 0
	女性			1		6	7
5	男性	1	2			1 0	1 3
	女性			1		1	2
4	男性			1	2	2	5
	女性	1				1	2
計		3	2	4	2	2 8	3 9

(3) 援護の実施機関別・障害支援区分別利用者数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

	援護市	男	女	計	施設入所支援	生活介護	障害支援区分		
							4	5	6
1	柏原市	9	1	1 0	1 0	1 8	5	5	
2	八尾市	2	2	4	4	7		1	3
3	東大阪市	3	3	6	6	6			6
4	羽曳野市	1		1	1	1			1
5	藤井寺市	1	1	2	2	2			2
6	大東市	1		1	1	1		1	

7	寝屋川市	2		2	2	2			2
8	守口市		1	1	1	1		1	
9	茨木市	2		2	2	2		2	
10	箕面市		1	1	1	1			1
11	高槻市	1		1	1	1			1
12	交野市		1	1	1	1	1		
13	枚方市		1	1	1	1		1	
14	堺市	2		2	2	2		1	1
15	泉大津市	1		1	1	1	1		
16	太子町	1		1	1	1		1	
17	大阪市	1		1	1	1			1
18	松原市	1		1	1	1		1	
	合計	28	11	39	39	50	7	14	18

## 2 日 課（下記の日課を基本として支援を行った。）

（午 前）	（午 後）
6：30 起床・洗面	13：00 作業活動
7：30 朝食・歯磨き	14：30 作業活動終了
8：30 コーヒータイム	15：00 間食
9：30 朝の集い（1日の流れを説明）	16：00 入浴 整理・片付け
・散歩など個別活動	12：00 昼食・歯磨き
・作業	18：00 夕食・歯磨き
～休憩～	余暇時間・コーヒータイム
22：00 就寝	

○第2・第4週の土曜日と日曜日・祝日は作業を行わず、散歩、外出支援等を行った。

## 3 日中活動

○利用者の特性に配慮し、高井田苑内に4つの作業班（農耕・リサイクル・軽作業・生活）と従たる事業所の「すてっぷ」に分けて支援を行った。

○作業時間は月・火・木・金の午後からは全利用者が作業に参加し、活動を行った。

農耕・リサイクル・軽作業班の一部の利用者については、午前中も活動を行った。

○「すてっぷ」は月～金と第1・3・5土曜日の午前・午後とも活動を行った。

○男性1名は平日の午前中、児童養護施設武田塾での清掃活動に取り組んだ。

○作業工賃を工賃規定に基づき、毎月10日前後に利用者に支給した。

平均工賃は、すてっぷ利用者：年間約5万6千円 本体施設内利用者：年間約3万5千円

(1) 農耕班

- ① 利用者 男性利用者6名 女性利用者1名 計7名
- ② 担当職員 5名（作業時は常勤1・非常勤1の2名で対応）
- ③ 作業内容及び評価
  - 高井田苑敷地内での野菜作りに伴う作業（開墾、堆肥作り、種まき、水やり、植付け、草抜き、収穫、袋詰めなど）
  - 地域（柏原市役所、市内弁当屋、K S R 関係事業所等）、高井田苑内での販売や不定期に開催されるイベントへの参加、販売を行う。
  - 平成27年度に比べ、販売ルートの減少で売り上げが下がっている。
  - 平成30年度の隣接地の活用に向けて、作業内容及び作業メンバーの見直し等を進める予定。

(2) リサイクル班

- ① 利用者 男性利用者6名 女性利用者2名 計8名
- ② 担当職員 4名（作業時は常勤1・非常勤1の2名で対応）
- ③ 作業内容及び評価
  - 芝山住宅等の地域の方からアルミ缶の回収を行い、一定の工程を経て、業者による買い取りを行う。
  - 利用者一人ひとりに合った環境整備を行い、落ち着いて作業が行えるように支援した。
  - 平成27年度に比べ、缶の回収率が下がったことや利用者2名の作業班の移動に伴い、作業量が減少したこともあり、缶の売り上げは下がっている。
  - 障害支援区分の重度な利用者が多いため、個々に合った作業環境の提供は維持しつつ、缶の回収ルートの増加や作業効率の向上を図れるように支援した。

(3) 軽作業班

- ① 利用者 男性利用者2名 女性利用者2名 計4名
- ② 担当職員 4名（作業時は常勤または非常勤2名で対応）
- ③ 作業内容及び評価
  - 企業からの受注作業を行う。
  - 少人数のため、静かで落ち着いた作業環境を提供でき、利用者も集中して作業に取り組んでいる。

(4) 生活班（1階）

- ① 利用者 男性利用者1名 女性利用者5名 計6名
- ② 担当職員 1名（作業時は常勤2名で対応）
- ③ 作業内容及び評価
  - 企業からの受注作業を行う。
  - 今年度より生産性のある活動を利用者に提供することを目標に支援してきた。  
今後作業内容や提供方法の見直しとともに、個々に合った支援を検討していく。
  - 高齢利用者もいることから、筋力や体力の維持など健康増進活動も行っている。

(5) 生活班（2階）

- ① 利用者 男性利用者 11名
- ② 担当職員 7名（作業時は常勤2・非常勤2ないし3名で対応）
- ③ 作業内容及び評価
  - 企業からの受注作業を行う。
  - 利用者の力や集中力に合わせた作業量を設定し、支援を行う。
  - 一定の作業の提供と環境の整備を行い、概ね安定して作業には取り組んでいたが、受注量の減少により提供出来る作業が減少することもあった。

(5) すてっぷ（従たる作業所：河内国分駅前）

- ① 男性利用者：7名（週2日通所者1名） 女性利用者：4名 計11（12）名
- ② 担当職員 3名
- ③ 作業内容及び評価
  - 企業からの受注作業を行う。
  - 作業に伴う準備や片付け、納品の同行など利用者中心で行い、自分達で出来ることを増やしている。また週1回のおやつの購入などで金銭管理を行えるように支援した。
  - 「すてっぷおやつ会」の発足、すてっぷ1泊旅行、すてっぷ学習会（からだのこと・おやつの摂り方）など、作業以外の場面でも利用者と支援者が共に様々な経験を積み、自信につながるよう支援した。

平成27・28年度別作業収益比較表

	農耕	リサイクル	軽作業	生活	すてっぷ	その他	計
27年度	94,742	284,801	78,001	218,917	607,656	16,875	1,300,992
28年度	221,936	440,882	323,420	319,193	1,146,703	3,500	2,455,634
	116,969	226,759	222,703	199,959	616,098	3,500	1,916,593

注：28年度下段の数字は必要経費差し引き後であり、利用者に支給される工賃となる。

## 4 行 事

平成28年度の行事計画は、個別ニーズに基づいた小集団での行事を基本とした。

日 時	行 事 内 容	参 加 者 数
4月20日（水）	信貴山のどか村（日帰り旅行）	5名、家族2名
5月15日（日）	高井田苑祭	200名
6月15日（水）	淡路ハイウェイオアシス（日帰り旅行）	6名
6月24日（金）	柏原作業所連絡会ボウリング大会	15名
7月13日（水）	生駒山上遊園地（日帰り旅行）	3名、家族4名
7月30日（土）	武田塾納涼祭	39名、家族8名
8月17日（水）	天保山遊覧船サンタマリア号	6名、家族1名

	(日帰り旅行)	
8月26日(金)	夏祭り	39名
	懇親会	49名、家族22名
10月8日(土)	スポーツフェスタ2016大阪	9月17日(土)
10月26日(水)	インスタントラーメン発明記念館 五月山動物園(日帰り旅行)	6名、家族1名
10月26日(水)	資生堂美容セミナー	16名
10月28日(金)	資生堂美容セミナー	3名
10月29日(木)～ 10月30日(金)	大江戸温泉物語 ひらかたパーク(1泊旅行)	1名
11月3日(木)	焼き芋大会	41名
11月9日(水)～ 11月10日(木)	神戸三田プレミアムアウトレット 有馬温泉(高井田苑すてっぷ1泊旅行)	12名
11月16日(水)	みどり農園(日帰り旅行)	4名、家族3名
11月20日(日)	柏原ふれあい広場	2名
11月22日(火)	資生堂CSR美容セミナー	地域の作業所より6名
12月14日(水)	エキスポシティ(日帰り旅行)	5名、家族3名
12月23日(水)	クリスマスパーティー	40名
12月25日(日)	大掃除	39名、家族27名
1月5日(木)	すてっぷ初詣	12名
1月18日(水)	神戸フルーツフラワー(日帰り旅行)	3名、家族3名
2月2日(木)	アロマ教室	10名
2月11日(土)	アロマ教室	19名
2月16日(木)	アロマ教室	12名
2月22日(水)	KSR文化祭	16名
2月25日(土)	服育教室	20名
3月8日(水)	服育教室	15名
3月15日(水)～ 3月16日(木)	東映太秦映画村 琵琶湖ミシガンクルーズ(1泊旅行)	5名

- ・作業終了後や休日は近隣のコンビニ等への個別外出を行った。

## 5 社会経験の場の設定

平成28年度、一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会の助成を受けて、外部の専門領域の事業所等の協力を得て、アロマ教室、服育、おしゃれ教室(資生堂の協力)等の試行事業を試みた。新たな経験に心ときめかせている利用者の姿を目の当たりにし、日々の生活意欲の醸成に繋がるものとする。

## 6 自治会活動

利用者自治会の会議を月 1 回開催し、行事や食事に対する利用者の意見等を支援に反映させた。

## 7 健康管理

定期健康診断を年 2 回、歯科検診を年 1 回実施、インフルエンザ予防接種を 1 1 月に実施した。また、毎週水曜日に歯科往診、月 2 回協力医療機関による往診を実施し、利用者の健康管理に努めた。

## 8 栄養管理

- 給食は浅田給食（株）に業務委託した。
- 栄養マネジメントを引き続き実施。利用者一人ひとりの栄養・身体状況を把握し、健康状態の維持・向上に努めた。
- 喫食調査等で利用者の食に対するニーズを把握し、献立に取り入れるよう努めた。
- 温冷配膳車を導入し、利用者の食生活向上に努めた。
- 利用者の生活向上の一環として、栄養講座を実施した。（対象者：すてっぷ利用者）  
内 容：「間食にはご注意ください」～利用者の理解を得やすい資料を作成し、利用者の興味を引くよう、実際の食品をサンプルとして使用する。Q&Aを交えながらの対話形式で実施した。

## 9 安全管理

防犯対策の強化を図るために、下記の対応を行った。

- ① 補助金を活用し、玄関前と玄関裏側に防犯カメラを設置した。
- ② 本体施設北側（山側）に人感センサーと防犯ライトを設置した。
- ③ 柏原警察署と連携し、不審者対応の研修を行った。

## 10 家族会との連携

家族会定例会（偶数月の第 4 日曜日）に理事長・管理者・主任が出席し、家族との意見交換をした。

# III 職員体制

## 1 職員数

職名	管理者	サービス 管理責任 者	支援 員	栄養士	夜勤専任 支援員	看護 師	事務 員	その他	合計
常 勤	1	1	19	1		1	3		26
非常勤			10		3			1	14

## 2 会議の状況

会議名	開催頻度	備 考
職員会議	月 1 回	
運営会議	月 4 回	毎週水曜日の午後に実施
ケース会議	月 2 回	個々の利用者ごとに支援方法等を検討
午前引継ぎ	毎日 9 : 00	前日からの情報を引継ぎ情報の共有を図る。
午後引継ぎ	毎日 15 : 30	当日の状況を確認、情報の共有を図る。

## 3 研修

### (1) 施設外研修

#### (支援の部)

実施日	研修内容
5 / 2 7	O J T 基礎研修
6 / 7	感染症・食中毒予防対策講習会
6 / 9	平成 28 年度 スーパーバイザー養成基礎研修 新任職員への S V の基礎
7 / 5 ・ 1 5	平成 28 年度 障がい児者施設課程（入所コース）研修会
8 / 2	平成 28 年度 障がい児者施設課程（主任クラス）研修会
9 / 6	施設で出来る結核対策
1 0 / 1 7	平成 28 年度 施設階層別人権研修
1 1 / 7	大阪知的障害者福祉協会 新任研修 新任職員の為の虐待防止研修
1 1 / 1 0	平成 2 8 年度 第 2 回感染症予防対策講習会
1 / 2 3	大阪知的障害者福祉協会 中堅研修 職員の為のアンガーマネジメント
1 / 3 0	第 2 回 機関研修会 知的障がいを伴う発達障がいのある方へのこだわりの理解と支援について～事例を通して考える～
3 / 1 6	第 4 回 集団指導者養成教室 セルフリーダーシップ力とは

#### (事務の部)

実施日	研修内容
4 / 2 5	会計研修
1 0 / 5	給与設計実務研修会
1 1 / 1 0	T K C ・ 改正社会福祉法対応実践セミナー
1 2 / 1	会計管理者・担当者研修会
1 / 2 4	第 2 回新会計基準研修会
3 / 1	社会福祉充実残額&充実計画セミナー
3 / 1 4	障害者グループホームの経営分析



## (2) 年間継続研修

### ① 一般社団法人大阪知的障害者福祉協会関係

○地域支援部会（グループホーム）

7/11 9/23 10/20(施設見学) 11/15 1/16(学習会) 3/8

○地域支援部会（短期入所） 7/29 10/25

○障害者支援施設部会 幹事会 5/26 7/26 8/30 9/16 11/22 2/3

### ② 平成28年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修（ファシリテーター）

（基礎研修）（実践研修） 9月と12月にそれぞれ1回ずつ 計2回

### ③ 平成28年度大阪府度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）（実践研修）

9月と11・12月にそれぞれ2回ずつ 計6回

○強度行動障がい支援検討会 6/1 7/20 9/26 11/22

### ④ 柏原作業所連絡会研修会 9/16

## (3) 平成28年度 施設内研修

### ①大阪府社会福祉協議会主催による大阪民間社会福祉事業振興基金助成を受け、「アウトリーチ型研修助成事業」を実施した。

助成の条件として「大阪社会福祉事業民間共済会の会員施設で2法人3施設以上によるユニットの形成」の必要があったため、障害者支援施設「四季の森」「科長の郷」との合同研修とした。（高井田苑から提案し、事務局を担う）

研修内容については各施設の代表者が集まり、各施設からの希望を持ち寄り検討した。

<研修内容>

○「個別支援計画の策定～アセスメント、PDCAサイクルにおける支援員のいとなみ～」

講師：大阪人間科学大学 講師 山崎康一郎氏

支援の要となる「個別支援計画」の策定時における重要なポイントや視点などについての講義を受けつつ、グループディスカッションを行った。各施設より個別支援計画とケースを持ち寄り、書式等の違いやその内容について議論した。また実際のケースについて「利用者の真のニーズは何か」という視点での議論を行った。

議論を深めるために研修は2回（7月14日、9月21日）行うこと及び極力参加者の変更をしないこととし、連続性を持たせた研修を実施した。

参加者：高井田苑6名・四季の森（クリエイトしき含む）7名・科長の郷5名、

柏原作業所連絡会の事業所4か所から5名の参加があった。

○「障がい者の人権を考える

～基本的理念、支援において最も重要なこと、障害者差別解消法を通して障がい者の人権について学ぶ～

講師：大阪府立大学三田優子氏

人権研修として障がい者の権利擁護における大切な視点についての講義を受けた。

（11月17日実施）

参加者：高井田苑・四季の森（クリエイトしき含む）・科長の郷の他に柏原作業所連絡会の事業所４か所、当法人（地域生活支援センターさんねっと、居宅介護事業所さんぽーと、共同生活援助にじ、児童養護施設武田塾）から計４９名の参加があった。

○施設間交流

研修開催日にそれぞれの施設の見学を実施した。

#### ４ 他施設職員との交流の促進

柏原市作業所連絡会の会員として活動し、ボウリング大会、文化祭等の行事や合同研修会等を通じ、各施設職員と連携・交流を進めた。

また、柏原市障害者自立支援協議会に参加し、他機関職員と意見交換等を行った。

#### ５ 実習生の受入れ

平成２８年度は下記のとおり、実習校２校、１２名の実習生を受け入れた。

平成２８年度 実習生受入れ日数表

学 校 名	期 間	日数	男	女
大阪女子短期大学	平成 28 年 8 月 8 日～8 月 18 日	10 日		2 名
大阪女子短期大学	平成 28 年 8 月 19 日～8 月 30 日	10 日		2 名
大阪女子短期大学	平成 28 年 12 月 16 日～12 月 26 日	10 日		1 名
東大阪大学	平成 29 年 2 月 6 日～2 月 17 日	10 日	2 名	
東大阪大学短期大学部	平成 29 年 2 月 20 日～3 月 3 日	10 日		1 名
大阪女子短期大学	平成 29 年 3 月 4 日～3 月 14 日	10 日		2 名
大阪女子短期大学	平成 29 年 3 月 15 日～3 月 25 日	10 日		2 名
計		70 日	2 名	10 名

### 障害者緊急一時保護事業

○障害者虐待防止法に基づく緊急一時保護事業は、柏原市・羽曳野市・藤井寺市・松原市と委託契約を締結している。

○平成２８年度の緊急一時保護はないが、下記の緊急対応を行った。

- ・松原市より緊急対応（高齢の母と二人暮らし、母の緊急入院のため、その後母死亡により入所となる）による短期入所サービスの受入れを行った。
- ・羽曳野市から障害者虐待防止法による緊急一時保護を行った。（理由：父親による性的虐待、ネグレクト）その後、成年後見人の選任のために時間を要したため、「措置（平成２８年９月２６日～平成２９年３月２１日）」になる。

## 日中一時支援・短期入所事業

### 1 内 容

事 業 認 可	平成28年10月（障害者自立支援法に基づく認可）
一日最大宿泊利用人数	5名（男3名、女2名）
日中一時支援利用人数	5名
利 用 期 間	障害者（児）受給者証に記載されている日数
担 当 職 員	支援員を充当

### 2 基本方針

保護者、家族の傷病等や仕事の関係、利用者本人の状況から介護が困難となった場合、また保護者、家族の精神的、身体的レスパイトが必要な場合に短期入所サービスを提供した。

### 3 基本の支援

利用者の個別状況に配慮しつつ、基本的に入所利用者の日課に沿った支援を行った。

### 4 日中一時支援・短期入所サービス利用状況

平成28年度 日中一時支援 利用日数

性別	市町村	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	柏原市	6	3	3	2	3	2	2	3	3	3	3	3	3	33

平成28年度 短期入所支援 利用日数

性別	市町村	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
女性	柏原市	2	3	3	3	3	2	3	5		2		2	3	29
女性	柏原市	2				2									2
女性	柏原市	4	4	4	5	5	2	4	5	2	4	2	4	4	45
男性	羽曳野市	5			17	31	11								59
女性	羽曳野市	5						5	31	30	31	31	28	21	177
男性	八尾市	6	2	3	3	3	3	3	3	3	3		3	3	32
			9	10	28	44	18	15	44	35	40	33	37	31	344

支援区分	2	3	4	5	6	合計
短期入所	31	0	45	236	32	344
日中一時	0	0	0	0	33	33



## 平成28年度 共同生活援助事業報告（案）

共同生活援助 ホームにじ

### I. 利用者支援の状況

#### 1. 入居者の状況

定員 12名 平成29年3月31日現在 在籍 11名（男性6名、女性5名）

	性別	年齢	障害支援区分	実施機関	住居	日中活動
1	男性	41	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
2	男性	43	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑
3	女性	38	4	柏原市	ホームにじ	高井田苑すてっぷ
4	女性	45	6	八尾市	ホームにじ	高井田苑
5	男性	49	4	柏原市	ホームそら	高井田苑
6	男性	46	5	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
7	女性	35	4	柏原市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
8	女性	51	6	八尾市	ホームそら	高井田苑すてっぷ
9	男性	30	2	柏原市	ホームはれ	夢工房くるみ
10	男性	25	5	八尾市	ホームはれ	高井田苑すてっぷ
11	女性	29	5	柏原市	ホームはれ	風の森

平成28年1月27日にホームはれ入居中の女性が市立柏原病院でお亡くなりになられ退所となる。現在、高井田苑の施設入所支援利用中の女性が入居に向けて共同生活援助の体験利用を進めている。

#### 2. 健康管理

高井田苑の生活介護の利用者は高井田苑の他利用者とともに定期健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施した。11月にインフルエンザの予防接種を行う。

他法人の日中サービスを利用している利用者はそれぞれの事業所の健康診断とインフルエンザの予防接種を行う。

毎月25日に月1回の体重測定を実施し、地域の医療機関と連携を取りながら、健康管理に努めた。

#### 3. 栄養管理

普段の夕食と休日の昼食はタイヘイ株式会社のケアホームメニューを利用し、栄養計算された食事を提供している。

朝食は世話人を中心に購入した食材を調理して提供している。

#### 4. 安全管理

ホームには3戸とも感知器、消防署への火災通報設備を設置、避難誘導灯、消火器を設置し11月にフジタカ防災設備に依頼し消防設備点検を行なっている。

年2回、火災を想定した避難訓練を行う。

### II. 職員体制

#### 1. 職員数

職 名	施設長	サービス 管理責任者	生活 支援員	世話人	事務員	合 計
常勤	1(兼務)	1			3(兼務)	5
非常勤			3	1 2		1 5

#### 2. 会議の運営

毎月ホームはれが第2火曜日、ホームにじが第3火曜日、ホームそら第4火曜日に管理者とサービス管理責任者と世話人が参加し、9:30～11:00で世話人会議を開催。

運営上課題となる事項や利用者支援に関わる問題を検討し、また情報の共有を図った。

#### 3. 研 修

管理者による人権研修を春に行う。

高井田苑が講師に大阪市立大学三田氏を招いて実施したアウトリーチ研修に管理者、サービス管理責任者と世話人が参加し人権について学習する。

外部が実施する研修では柏原市自立支援協議会くらし部会主催の職員交流会に4名の生活支援員と世話人が参加し、社会福祉法人障友会の見学を通じ他事業所の職員との交流し日常の業務の参考にした。

### III. 余暇支援

#### 1. 移動支援・行動援護サービスの利用

男性6名、女性4名がさんぽーとの移動支援、行動援護サービスを利用し、休日に外出し、各自の希望する場所に出掛けたり、買い物に出掛けたりしている。

#### 2. 集まれグループホームへの参加

昨年度に続き大阪府障害児者生活サポート協会主催の集まれグループホームに、男性2名女性2名の利用者が生活支援員と世話人の引率で参加する。

#### 3. じゃむの会、さえらの会に参加

地域生活支援センターさんねっとのじゃむの会、さえらの会にホームにじの利用者が不定期であるが参加し、地域にお住まい当事者の方と交流を図る。

## 平成28年度 相談支援事業報告（案）

地域生活支援センター さんねっと

はじめに

地域生活支援センターとして、柏原市において在宅で障がいのある方に対し、自立した生活が送れるよう支援するとともに、各種障がい福祉サービス利用のための援助、調整を行った。

また依頼を受け、サービスが円滑に受けられるよう利用計画を作成し、そのサービスが適切に運用されるようモニタリングを行った。

その他、必要に応じて訪問や関係者会議を行い、本人ならびにその家族の福祉の向上を図った。

### 1. 柏原市障害者支援事業

柏原市からの委託を受けている一般相談については、新規相談は10件あり、本年も虐待の事案についての緊急対応や健康上の問題、引きこもりの事案について動くことが多くあった。また、障がい別としては、精神障がいの方の相談を受けることが多くあった。

福祉サービスの利用については柏原市はじめ近隣市の事業所との関係を深め、状況を把握するなど、社会資源の開拓とサービスの向上に努めた。

#### (1) 相談支援を利用している障がい者等の人数

	人員	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他
障がい者	161	12	0	122	26	0	0	1
障がい児	18	2	0	9	2	5	0	0
計	179	14	0	131	28	5	0	1

#### (2) 支援方法

方法 年度		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子 メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件	27	348	102	28	414	2	8	54	330	1286
数	28	213	160	40	468	135	15	2	182	1215

### (3) 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
27年度	385	143	154	350	31	281	31
28年度	504	196	98	369	13	252	35

	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
27年度	94	366	475	39	1	2350
28年度	46	272	483	33	1	2301

## 2. 計画相談

27年度登録数 107件(知的障がい児6件 知的障がい者75件 身体障がい者 6件  
精神障がい者 5件 重複障がい者15件)

28年度登録数 104件(知的障がい児4件 知的障がい者77件 精神障がい者 3件  
精神障がい者10件 重複障がい者11件)

28年度計画作成件数 115件 モニタリング件数 201件

計画相談も100件を超え、計画相談の依頼に対して細やかな見守りや支援が疎かになりつつあるため、利用者の立場に立った一人一人のニーズの聞き取りや必要に応じた介入等を行っていくことが今後の課題となっている。

また、計画相談を受ける中で、サービスの調整だけにとどまらず、生活全般に関わる必要と思われる方もあり、そのため家庭訪問等をこまめに行うなど問題の改善に努めた。

今年度から、高井田苑入所者の計画相談も徐々に受け入れており、今後地域での生活を希望されたときに円滑に進むよう、柏原市や近隣市の資源などの状況を把握し、必要に応じて情報提供できるよう努めていく。



### 3.当事者支援(社会貢献事業)

さんねっとの活動で大きな部分を占める社会貢献としての当事者支援活動は、よりご本人たちが主体となって活動していくことを意識していただけるように、総会という形でご本人たちが希望を発言できる場を提供している。また、ボランティアにも参加してもらうことで、普段外出する機会の少ない人も気軽に参加できる場となるよう努めた。

#### じゃむの会

月日	場 所	参加人数	内 容
4月9日	馬見丘陵公園	16人	花見をしよう
5月15日	高井田苑	15人	高井田苑祭出店
6月11日	柏原文化センター	14人	じゃむの会上映会
7月9日	大寅道明寺工場	18人	工場見学
8月13日	明邦ボウル	17人	ボウリング
9月10日	きんぎょすくい道場	14人	きんぎょすくい体験
10月8日	天王寺動物園	14人	動物園に行こう
11月19日	オアシス(健康福祉センター)	11人	音に合わせてダンス
12月 10日	A-Style 河内国分店	14人	総会&クリスマス会
1月14日	国分合同会館	19人	鍋で新年会
2月 11日	国分合同会館	11人	アロマセラピー体験
3月 11日	海遊館	17人	海遊館に行こう

#### さえらの会

月日	場 所	参加人数	内 容
4月23日	さんねっと	10人	母の日のプレゼントを作ろう
5月28日	さんねっと	10人	お抹茶をいただこう
6月25日	さんねっと	8人	お菓子作り
7月30日	さんねっと	7人	ゲームをしよう
8月 27日	さんねっと	9人	タイ焼きをつくろう
9月24日	さんねっと	5人	さをりでしおりをつくろう
10月22日	さんねっと	9人	ハロウィンのお菓子作り
11月 26日	さんねっと	8人	さをり織り体験をしよう
12月 24日	さんねっと	6人	クリスマスツリーをつくろう
1月28日	さんねっと	8人	バレンタイン予行練習
2月 25日	さんねっと	11人	おいしいコーヒー講座
3月 25日	さんねっと	5人	コップの中で小魚を飼う

わおんの会(第3日曜日) \*9月、3月は休み

月日	場 所	参加人数	内 容
4月17日	さんねっと	3人	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
5月22日	さんねっと	3人	歌、紙芝居、カレンダー作り
6月19日	さんねっと	5人	歌、紙芝居、カレンダー作り、楽器遊び
7月17日	さんねっと	4人	歌、紙芝居、カレンダー作り、歌唱
8月21日	さんねっと	4人	歌、紙芝居、カレンダー作り、お楽しみ会
10月16日	さんねっと	3人	歌、紙芝居、カレンダー作り
11月13日	さんねっと	1人	歌、紙芝居、カレンダー作り
12月18日	さんねっと	3人	歌、紙芝居、カレンダー作り
1月15日	さんねっと	3人	歌、紙芝居、カレンダー作り
2月19日	さんねっと	4人	歌、紙芝居、カレンダー作り

ゆいの会(不定期)

月日	場 所	参加人数	内 容
7月9日	大寅道明寺工場	5人	工場見学

じゃむの会は全体的に10名を超える大人数での参加が多く、職員・ボランティアの連携がより必要となった。

わおんの会は、昨年より参加人数が減少傾向にあったため、今年度より月1回の開催に変更し、その1回を時間を増やして、より密に個人の希望をグループワークに取り入れることが出来る機会とした。その結果、保護者から「学校で積極的に音楽に参加するようになった」等の感想をいただけた。今年度は参加者1名増え、全体的に参加人数が増加傾向にある。

ゆいの会はじゃむの会と合同で行うことで、参加されている方の普段の様子も見ていただける機会となった。

# 平成28年度 居宅介護事業報告（案）

居宅介護事業所 さんぽーと

## 1. 事業概要

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方が永く地域で生活できるよう、その多様なニーズに応えるため、様々なサービスを提供し自立の促進及び生活の向上を図るべく支援を行った。

平成24年事業開始から徐々に依頼も増え地域にも認知されるようになってきており、今後もそれに応えることのできるサービス体制の充実と、ヘルパーの質の向上を図っていきたい。

## 2. サービスの種類

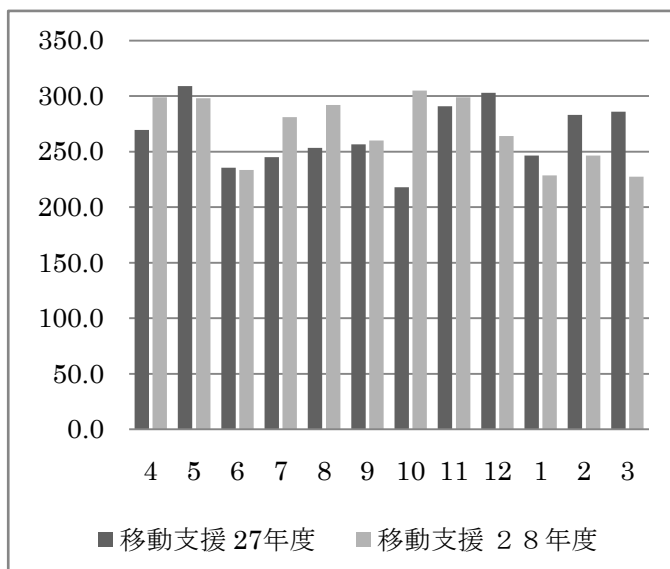
移動支援

行動援護

居宅介護（家事援助・身体介護・通院介助）

## 3. 活動状況

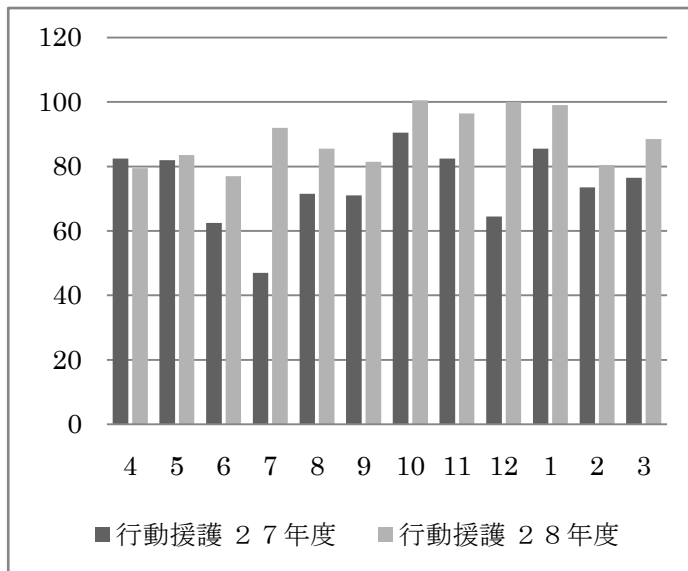
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(時間)
移動支援	27年度	269.5	309.0	235.5	245.0	253.5	256.5	218.0	291.0	303.0	246.5	283.0	286.0	3196.5
	28年度	299.0	298.0	233.5	281.0	292.0	260.0	305.0	299.0	264.0	228.5	246.5	227.5	3234.0
行動援護	27年度	82.5	82	62.5	47	71.5	71	90.5	82.5	64.5	85.5	73.5	76.5	889.5
	28年度	79.5	83.5	77	92	85.5	81.5	101	96.5	100	99	80.5	88.5	1064.0
居宅(家事)	27年度	41.5	50	37.5	42.5	23	27	28.5	35	35	33.5	38	27	418.5
	28年度	37.5	31.5	40.5	37	32.5	33.5	38	39	38	27	21	21	396.5
居宅(身体)	27年度	16	16	16.5	19.5	10	10	13	12	13	12	11	10	159.0
	28年度	12	11.5	13	14.5	20.5	14.5	21	26.5	26	22.5	20	20	222.0
居宅(通院)	27年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0



### 移動支援

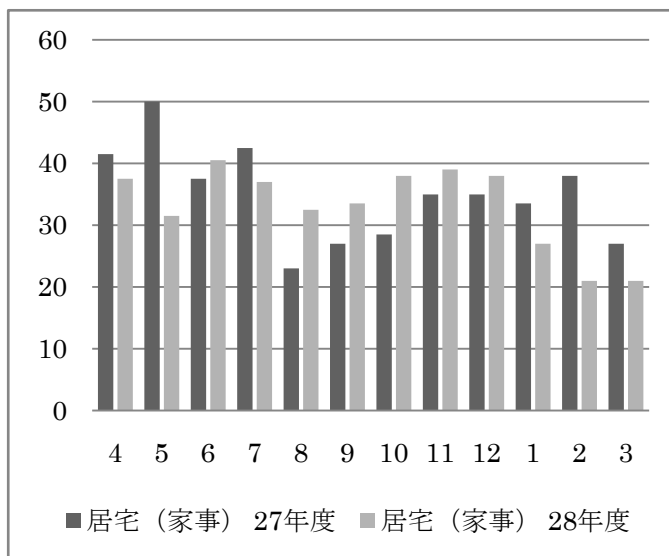
他市町村の利用もあり、契約者の数は増加している。

今後も柏原市、その他市町村の利用の増加が見込まれる。



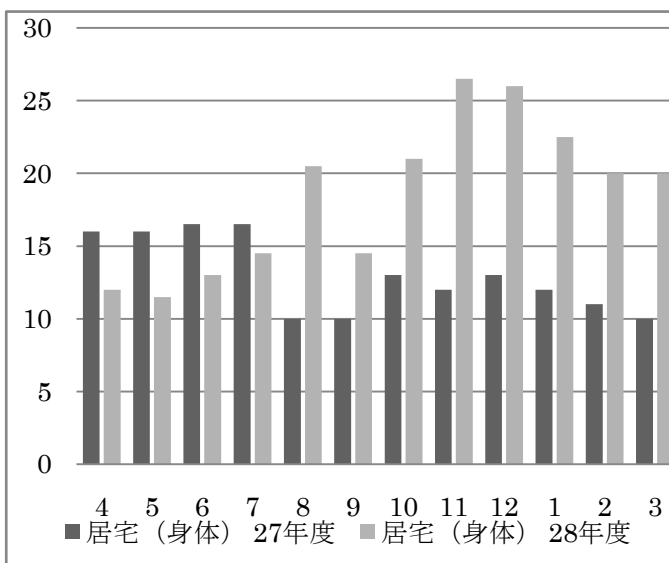
## 行動援護

高井田苑利用者、他事業所からの紹介もあり利用者は増加傾向にある。



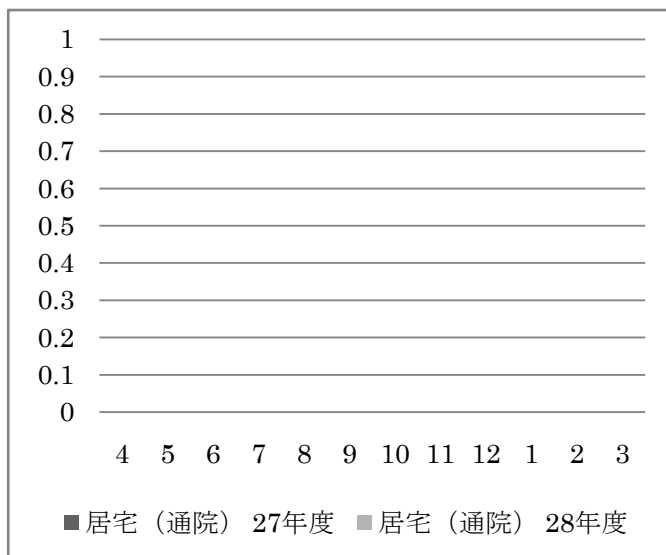
## 居宅介護(家事援助)

昨年度に続き徐々に依頼は増えてきているが、利用の頻度にばらつきがある。



## 居宅介護(身体介護)

利用者の数はあまり増加していない。また、利用の頻度にばらつきがある。



## 居宅介護(通院介助)

通院自体の利用はあるが、行動援護で行っているため現在の利用はほとんどない。

## 4. その他

本年度新たに3名の方と登録ヘルパーとしての契約を行ったが大学卒業、就職等の理由から現在ヘルパー総数は20名となった。

現任のヘルパーに対しては、人権に関する研修や、実践に即した勉強会、ケース会意義等を定期的に行い資質の向上を図った。

今後依頼はますます増加することも予想することから、要望に対して適切な派遣ができるよう、ヘルパーの確保は急務の課題となっている。

引き続き積極的な募集活動を行うと共に、定期的な勉強会を行いながら事業所全体の底上げをめざしていく。